

Ⅱ 学部経営

1 小学部の経営

(1) 学部目標

「自分の目標に向かって、周囲の人と共に、進んで取り組むことができる子」

・目指す姿

- 【低学年】 様々な経験を通して道具の扱いに慣れたり、自分でできることが増えたりする姿
 【高学年】 自己理解を深め、困っていることを人に伝えたり、自分で何とかやってみようとしていたりする姿

・学部経営方針

- 【いきいき】 やることが分かって、進んで活動に向かう意欲や態度を育てる
 好きなことや楽しみなことを増やす
 【なかよく】 周囲の人と好ましいやり方で関わる力を育てる
 思いを相手に伝えたり受け止めたりする力を育てる
 【すこやか】 安定した心と健康に過ごす力を育てる

(2) 本年度の取組

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
安全・安心	ア児童が互いの良さに気づき、仲良く過ごすことができる指導の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・すんえん3か条と自分の生活目標がリンクする目標設定をし、月1回目標を振り返る。 ・実態に応じた係活動に取り組み「一人一役」を大切にされた学校生活作り(学期ごと見直し)。 ・朝の会や活動の中で、児童の良さを教師が広める場や児童が互いの良さを見つけ発表する場を設ける。 ・人との接し方の基本を教え、生活や集団活動でのルール作り、好ましい人間関係を育むための生活づくりを実践。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が互いの良さを認め合う関わりができた と答える教職員100%
	イ働きやすい職場環境づくりと組織的な対応ができる教員集団づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・学部の中で、級外を含めて計画的に授業を進めたり事務処理の時間を確保したり、授業準備の精選をしたりし、業務改善に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報・連・相や連携・協力に努めることができた と答える教職員100%
授業	ア児童の思考・判断・表現を引き出すための授業づくりの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前に、学部会の中で、アセスメント（自立活動チェックリスト、太田ステージ）を元に、単元カードを用いて授業を考え、作りあげていく。 ・学部会の中で、生活単元学習において日々のあられを、単元カードを用いて共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の思考・判断・表現を引き出すための授業実践ができた と答える教職員100%
	イ個別の指導計画における適切な目標設定と効果的な指導実践	<ul style="list-style-type: none"> ・学部会の中で、個々の目標設定を確認し、共有する。 ・個別の指導計画の目標を、単元や授業の前に確認する時間を設定する。 ・個々の目標の進捗状況を確認する場を学期の中間に設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画に沿った指導を実践し、目標達成ができた と答える教職員100%。

	ウ9年間の成長と自立を見通した教育課程の見直しと改善	<ul style="list-style-type: none"> ・小低、小高での目指す姿に迫る教育活動を年間計画で位置づけ、実践する。(4月、学期ごとの評価) ・学習指導要領や、「いつどこなに表」を活用して年間計画を立て、学部会で確認する。 ・学部行事、校外学習3年間の押さえの確認、見直し(年度当初、年度末) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年段階や個人の実態に応じて指導実践ができたと答える教職員100%
	エ体力の向上と生涯スポーツにつながる教育活動の充実、情操教育につながる表現活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・校外歩行を定期的に取り入れる。 ・朝の会の前に朝のトレーニングの時間を設定し、体幹トレーニングや柔軟体操を10分程度取り組む。 ・体育の授業で5分間走を取り入れ、8分間走へステップアップ。 ・児童がゲームの楽しさに気づき好きなスポーツをみつけられるように、バスケットや野球などを体育だけでなく昼休みや特別活動でも扱っていく。 ・教師と児童、読み手交代、ICT活用、おすすめ紹介など、読み聞かせタイムの充実(国語・算数の時間、週1回)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の体力の維持向上と日常的に運動に取り組む姿勢が実感できると答える教職員100%
連携	ア地域資源を活用した授業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の産業を活用した調べ学習の実施(年1回) ・地域の方との共同音楽コンサート(年1回) ・地域の自然や施設の活用、地域の人と交流できる活動を行う。(季節の物探し、買い物学習など) ・地域の特別支援学級や居住地校との交流を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が地域とのつながりに積極的に参加できたと答える教職員100%。
	イ実態に応じた自己選択や自己決定の場面の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学部会で実態に応じた自己選択や自己決定のイメージを共有し、授業や生活の中で自分で活動を選んだり決めたりする場面を設定する。(昼休み遊ぶ場所、活動決めなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が授業や生活の中で自分で活動を選んだり決めたりすることが増えたと答える教職員100%。
	ウ保護者や駿遠学園、本校、関係機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の健康状態、学校・家庭・学園での生活について、連絡ノート(毎日)、週予定表(毎週末)、学部便り等の活用を通して、連携と情報共有を深める。 ・保護者面談(年3回)や支援会議等を通し、児童の課題や生活状況、家庭の状況、支援方法等について共有し、指導に生かす。 ・本校との合同学習に向けて、定期的に本校とのリモート交流や手紙でのやり取りを行う。(4年、5年、6年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、学園、関係機関と連携して指導実践ができたと答える教職員100%。